

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 4年 6月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	1、緊急時連絡網に区長の連絡先を記入しておらず、地域との関わりをもちにくい。 2、地域とグループホームの情報共有ができていない。	1、施設を取り巻く公共の連絡先や、地域に密接する方の連絡先の連絡網を作成する。 2、回覧板等にグループホームの情報を載せ、共有ができるように活動していく。	1、施設を取り巻く公共の連絡先や、地域に密接する方の連絡先の連絡網を作成し、職員全体が把握できるよう表記する。 2、毎月を目標に、季節ごとのイベントを行った際は写真を載せて回覧板にて地域住民の方と情報共有をしていく。	12ヶ月
2	13	介護職員のスキルや経験値にばらつきがある。コロナ禍で研修への参加ができていない為以前より自己評価できていない。また、管理者も把握できていない。	自己評価表や施設内の研修を行い、日々の取り組みをより良くする。技術向上へつなげる。	自己評価表や施設内の研修を行い、日々のケアの振り返りや職員同士で情報共有する事により、介護技術を学べるようにする。また、オンラインでの研修へ積極的に参加する。	12ヶ月
3	19・20	コロナ禍によりご家族との面会や馴染みのある場所へ行くことが激減している。写真入りのお手紙を送付していたが頻度が少なくご家族への情報共有ができていない。またご家族からのご利用者様の生活歴を聞くチャンスがなく、看取りの際個別的なケアに活かす事ができていない。	写真やお便りを月に一度お送りし、利用者様との電話や遠方のご家族とのLINE電話等に取り組んでいく。	職員でご利用者様の担当を決めお手紙やお写真をご家族へ送付する。また、日程を決めご家族との電話やLINE電話の時間を設け、ご利用者様だけでなく職員もご家族と会話し会話の中から生活歴を聞き取り看取りになった場合に個別的なケアができるような取り組みを行う。	12ヶ月
4	33	担当医師から看取りと判断があった場合、医師・看護師・キーパーソンと職員でカンファレンスをおこなっているが、キーパーソン以外のご家族には参加を呼びかけていなかった。	ご家族とご利用者様により個別的なケアを提供できるようなカンファレンスを開催する。	ご家族へ参加してほしい方の聞き取りを行い、様々な意見を参考に個別的なケアを提供できるようなカンファレンスを開催する。	12ヶ月
5	34	急変時や看取りについてのマニュアルが無い。そのため職員が対応に困る。	急変時や看取りの際職員が統一した対応ができるようマニュアル作成を行い、対応出来るようにする。	ご利用者様の日々の変化について朝礼の時間を使うなどし、情報交換を行う。看取りのカンファレンスに職員も参加して、医師の指示やご家族の意思を周知しマニュアルに沿ってケアにあたる。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。

(様式第2号)

事業所名グループホーム季楽里ふあむ

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 4 年 6 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	35	災害時の対応は未経験であり、地域のハザードマップは作成しているが実際に昼夜問わず訓練を行っていない。	災害は予測できない為ハザードマップをもとに昼夜問わず訓練を行い職員が避難方法を身につけておく。	災害を予測しハザードマップを職員が周知できるような場所へ掲示しておく。それをもとに職員間で避難経路等を話し合い、実際に訓練を行う。その後地域への協力が必要な箇所を見出し、区長や消防団へ依頼するなどし、協力を得る。 12ヶ月
2	36	ご利用者様の排泄時はドアやカーテンを閉めプライバシーの保持に努めているが、ホールで職員が排泄状況の情報共有をしている事がある。	ご利用者様の立場に立ってプライバシーの保持ができるよう職員へ意識してもらう。	情報共有しないといけない場合は暗号化するなどの工夫をする。また、プライバシーの保持ができていないのではと思った際は職員同士で注意し合う。 12ヶ月
3	40	食事の準備や後片付けにご利用者様が参加できる環境づくりをしていない。また、職員がご利用者様と一緒に食事を楽しむ時間を設けていない。	認知機能や身体能力に関わらず、ご利用者様が食事の配膳・下膳に参加できる環境づくりを行う。職員もご利用者様と一緒に食事を楽しめる環境づくりを行う。	ご利用者様にお茶の準備や皿洗い等短時間の作業から取り組んでいき職員もご利用者様が参加しやすい環境づくりを模索していく。職員一人でもご利用者様と食事し、楽しい食事の時間を過ごせるよう業務内容や時間配分を再検討する。 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。